

安心して住める まちづくりを推進

決算の概要

26年度の一般会計と5特別会計の支出額は95億1680万円で前年度比8億3160万円、9.6%の増加です。一般会計の支出総額は62億4825万円で前年度比5639万円、0.9%増加しました。総合運動公園多目的グラウンド改修事業など、普通建設事業費の増加が主な要因です。

会計別の決算状況は下の表のとおりです。

●26年度会計別の決算状況

会計名	歳入(収入)	歳出(支出)
一般会計	66億3016万円	62億4825万円
特別会計		
国民健康保険事業	12億2464万円	11億4328万円
簡易水道事業	5億5881万円	5億4922万円
農業集落排水事業	1億9378万円	1億9048万円
後期高齢者医療事業	7362万円	6967万円
国保葛巻病院事業	9億528万円	13億1590万円
合計	95億8629万円	95億1680万円

※病院事業会計の決算は、7月定例会議で認定しましたが、特別会計の決算額に含めていません。



バイオリン演奏を練習する 葛巻保育園児

9月定例会議

9月定例会議は、9月4日から11日までの8日間の日程で行われました。冒頭、鈴木町長が再任に当たって所信表明を行いました。

町長から提出された議案は、26年度各会計の決算認定のほか、26年度一般会計補正予算など13件が提出され、すべて全議員の賛成で原案どおり「決定」しました。

また、7日に行われた一般質問では3名の議員が登壇し、町の対応や考えをただしました。

町長3期目の所信を表明

「夢と誇りを持つ町」



鈴木町長

3期目の町政運営は、町に住む誰もが「安心して」「夢と誇り」を持つた生活をこの先も続けることができる葛巻町にしていくために、山村の持つ資源と機能を活用した取り組みに全力を尽くします。

「安心して暮らせる環境の確立」のために、葛巻病院、若者世代向けの住環境の整備や高齢者にやさしい生活環境の構築に取り組みます。

「次代を担う人材の育成と確保」のために、江刈小学校校舎改築など、子どもを産み育てやすい

環境の充実、移住・定住・山村留学制度の推進、スポーツ・ツーリズムなど町へ足を運んでもらうための施策に取り組みます。

「地域産業の新たな展開と発展」のために、地域資源の高付加価値化と雇用創出、新葛巻型酪農構想の着実な推進をはじめ、農・商・工連携による産業振興、包括的な「くずまきブランド」の確立などの取り組みを強化します。

町が持つ資源を最大限に生かし、葛巻だからできる、葛巻にしかできない取り組みを大切に、町の魅力向上と獨創性を高め、人口減少問題を克服していきます。

監査委員の意見

26年度決算は、病院事業会計を除く会計が黒字で各種財政指標も改善されており、財政運営の健全性が維持されています。

収入未済額が減少しており、職員の努力の成果が表れています。

本町の財政運営は約8割を地方交付税などの財源に依存している財政構造のため、自主財源の確保に努力が必要です。



町長に決算審査意見書を提出する監査委員

●健全化判断比率

各指標	26年度	25年度	比較
実質赤字比率(15%)	赤字なし	赤字なし	—
連結実質赤字比率(20%)	赤字なし	赤字なし	—
実質公債費比率(25%)	6.4%	7.8%	△1.4
将来負担比率(350%)	なし	なし	—

※各指標の()内の%は早期健全化の基準で、数値が低いほど健全な財政運営になります。

財政健全化判断比率は「健全」を維持

「財政健全化法」に基づく、26年度一般会計、特別会計、第3セクターなどの決算を含めた各指標は、左の表のとおりいずれも基準を下回りました。

また、簡易水道事業、農業集落排水事業のいずれも黒字のため資金不足は発生していません。